



市議会だより

にほんまつ

第21号

12月定例会号

平成23年2月1日発行
発行：二本松市議会
福島県二本松市金色403-1
Tel 0243-55-5143/Fax 0243-22-6047



小浜保育所

災害復旧費、生活保護扶助費の増額等

2億8,371万8千円の補正予算を可決

定例会概要 2

議会議員の議員報酬等に関する条例改正等11議案を可決

臨時会概要 3

よりよい
議会活動をめざして

常任委員会の行政視察報告・審査報告

委員会報告 4

市の明日を考える

一般質問に16人が登壇

社会保険二本松病院存続について等 ほか

一般質問 8

請願・意見書・議会豆知識・議会の動き・編集後記

お知らせ 13

災害復旧費、生活保護扶助費の増額等

2億8,371万8千円の補正予算を可決

二本松市議会12月定例会は、12月7日から12月22日までの16日間を会期として開催されました。

今回提出されました議案は、平成22年度一般会計補正予算、市条例の一部改正など市長提出議案15件、議員提出議案5件、請願6件でした。これらを慎重に審議した結果、市長提出議案、議員提出議案とも原案のとおり可決されました。

請願については、6件中2件が採択、2件が一部採択となり、2件は不採択となりました。

また、最終日に議案1件が追加され、教育委員会委員の任命の同意については全会一致で同意されました。

なお、人権擁護委員候補者の推薦についても全会一致で適任と認め推薦しました。

条 例

◎「安達地方広域行政組合規約の変更」及び「安達地方広域行政組合福島地方拠点都市地域ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産の処分について」

国が定めた「広域行政圏計画策定要綱」及び「ふるさと市町村圏推進要綱」が廃止されたこと等に伴い、安達地方広域行政組合の事務の内容等を一部変更し、同組合が管理している2つの基金のうち「安達地方広域行政組合安達地方ふるさと市町村圏基金」については、名称を変更して存続させ、「安達地方広域行政組合福島地方拠点都市地域ふるさと市町村圏基金」については、これを廃止して基金に属する財産を構成市村の出資割合に応じて精算し、帰属させるため、議会の議決を求めるもの。

◎「二本松市市民テニスコート条例の一部改正」

安達テニスコートを廃止し、岩代テニスコート単独の条例に改変するため、所要の改正を行うもの。

補正予算

◎「二本松市一般会計補正予算」

事務事業の執行経過における変更、整理及び災害復旧等の経費を主として措置するもので、現計予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8,371万8千円を追加し、予算総額を259億884万6千円とするもの。

(歳出の主なもの)

○民生費

- ・重度心身障がい者医療費給付事業の増額 7,336千円
- ・児童扶養手当費の増額 7,897千円
- ・子ども医療費助成事業の増額 23,882千円
- ・子育て支援対策臨時特別事業の増額

- 6,400千円
- ・生活保護扶助費の増額 99,977千円

○衛生費

- ・新型インフルエンザ対策事業の増額 7,747千円

○農林水産業費

- ・中山間地域等直接支払制度事業の増額 13,505千円

○商工費

- ・工場等立地促進事業の増額 2,054千円

○土木費

- ・市営住宅維持管理経費の増額 36,800千円

○教育費

- ・小学校研修図書等充実事業の増額 14,043千円
- ・幼稚園子育て支援対策臨時特別事業の増額 12,000千円

○災害復旧費

- ・農業用施設単独災害復旧事業の増額 7,500千円
- ・土木施設単独災害復旧事業の増額 14,000千円

(歳入のうち特定財源以外の主なもの)

○固定資産税の増額

105,963千円

◎「二本松市国民健康保険特別会計補正予算」

事業勘定において上半期の医療費の動向から保険給付費の伸びが見込まれることによる補正措置。

◎「二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算」

保険料軽減相当分の広域連合納付金に係る補正措置。

◎「二本松市介護保険特別会計補正予算」

保険事業勘定で、次期介護保険事業計画策定に係る基礎調査等経費を増額措置するもの。

◎「二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算」

電気計装設備修繕費の増額、借換債元金及び借入利率の確定による長期借入金償還元金の増額、長期借入金償還利子の減額をそれぞれ措置するもの。

◎「二本松市安達下水道事業特別会計補正予算」

建設事業費の減額措置。

◎「岩代下水道事業特別会計補正予算」

マンホールポンプ施設用地の一部を県の災害防除事業用地へ売却することに伴う補正措置。

◎「二本松市田沢財産区特別会計補正予算」

田沢集会所駐車場用地購入に係る補正措置。

◎「二本松市水道事業会計補正予算」

下水道関連二本松地区及び安達地区配水管布設替事業の変更に伴う財源の変更を行うもの。施設改良事業二本松地区の変更並びに下水道関連二本松地区及び安達地区配水管布設替事業の変更に伴う財源及び事業費の変更等を措置するもの。

◎「二本松市下水道事業会計補正予算」

流域関連公共下水道事業の事業費増額、特定環境保全公共下水道事業委託料の減額、終末処理場維持管理費の増額を措置するもの。

その 他

◎「二本松市教育委員会委員任命の同意について」

山崎友子さん(東新殿)を適任者と認め同意しました。

◎「人権擁護委員候補者の推薦について」

菅野勝子さん(渋川・再任)、吉田左重さん(上川崎・再任)、五十嵐伝一さん(戸沢・新任)を適任者と認め推薦しました。

○12月定例会に市長から提案された議案と審議結果

議案番号	件名	会議結果
第118号	安達地方広域行政組合格約の変更について	原案可決
第119号	安達地方広域行政組合福島地方拠点都市地域ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産処分について	原案可決
第120号	二本松市市民テニスコート条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第121号	工事請負契約締結について	原案可決
第122号	工事請負契約の変更について	原案可決
第123号	平成22年度 二本松市一般会計補正予算	原案可決
第124号	平成22年度 二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第125号	平成22年度 二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第126号	平成22年度 二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第127号	平成22年度 二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第128号	平成22年度 二本松市安達下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第129号	平成22年度 二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第130号	平成22年度 二本松市田沢財産区特別会計補正予算	原案可決
第131号	平成22年度 二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第132号	平成22年度 二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第133号	二本松市教育委員会委員任命の同意について	同意

平成22年 第8回(11月)臨時会

11月臨時会が11月29日に開催されました。

提出された議案は、議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正など給与関係条例の一部改正3件、給与関係条例の改正及び当初予算編成後の異動等に伴う補正予算8件の計11件です。全議案とも原案のどおり可決されました。

《改正の主な内容》

- ・平成22年4月1日以後56歳以上になる職員について、行政職給料表5級以下の職員及び医師を除き、当分の間給料及び給料の特別調整額の支給額を0.9%減額すること。
- ・年間較差の調整を行うこと。
- ・期末勤勉手当の支給割合を4.05月から0.15月引き下げ、3.90月とすること。
- ・市長等特別職及び議会議員の期末手当については、支給割合を3.05月から0.15月引き下げ、2.90月とすること。

○11月臨時会に市長から提案された議案と審議結果

議案番号	件名	会議結果
第107号	二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第108号	二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例及び二本松市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第109号	二本松市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第110号	平成22年度 二本松市一般会計補正予算	原案可決
第111号	平成22年度 二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第112号	平成22年度 二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第113号	平成22年度 二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第114号	平成22年度 二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第115号	平成22年度 二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第116号	平成22年度 二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第117号	平成22年度 二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決

よりよい議会活動をめざして

協働のまちづくりなどを視察

11月10日～12日・京都府向日市・綾部市

総務常任委員会では、11月10日から12日までの日程で京都府向日市、綾部市を視察しました。

向日市は、自治会、ボランティア団体、NPO法人、及び市民公益活動団体が、地域の課題や、より良い公共サービスを提供するという共通の目的を持ち、いきいきとした心の通ったまちづくりを進めております。その一環として市民参加と協働の推進を図るため、平成17年6月に「向日市市民協働促進基本方針」を策定し、平成20年4月1日には、その方針に基づき「市民協働の基本理念」を定めました。

また、市民、公益活動団体及び市等のそれぞれの役割及び責任を明らかにするとともに、市民協働を推進するために必要な事項を定め、双方が協力して公益の推進を図り、豊かで活力ある地域社会の実現を図ることを目的に「市民協働促進条例」を施行しております。

さらに、平成21年4月には、市民協働推進の拠点施設である「市民協働センターかけはし」を開設するなど、協働事業の取り組みを進めており、さらなる公益の推進、住民福祉の向上のため「市民との協働のまち」の実現が図られているとのことでありました。

綾部市は、過疎・高齢化が進行しコミュニティの維持が困難な集落を「水源の里」として位置づ

総務常任委員会

けし、平成18年12月に「綾部市水源の里条例」を策定し住民と行政の協働による地域再生に取り組んでおります。水源の里とは「市役所から25km以上離れた集落で世帯数が20戸未満、高齢化率が60%以上で水源に位置する集落」と定義し、全196集落のうち5集落を位置付けしています。

事業としては、住宅整備補助、定住給付金の支給及び空家利用などの定住対策事業、都市住民との交流会や農林業体験事業など都市との交流促進事業、特産品の開発、農産物の加工及び販売の地域産業の開発と育成事業、給排水設備や携帯電話通信設備等の生活基盤整備事業の4つの振興策を掲げ、地域再生への歩みを図っております。

その結果、住民は地域づくりに積極的になり、新規定住者が現れるなど徐々に効果が表れている状況にあるとのことでありました。



綾部市「水源の里」にて

農商工連携などを視察

11月8日～9日・千葉県南房総市・埼玉県志木市・神奈川県相模原市

市民産業常任委員会では、11月8日から9日までの日程で千葉県南房総市、埼玉県志木市及び神奈川県相模原市を視察しました。

まず、南房総市では、「農商工連携について」を視察しました。当地域ではびわの生産が盛んであり、「房州びわ」としてブランド化されています。「株式会社とみうら」は、房州びわの規格外品を活用し、オリジナルブランドを開発・販売を行い、また、観光会社や地域の農商工関係者と連携し、着地型の集客交流をモデル化しております。これらの活動によって、「株式会社とみうら」は黒字経営を継続しており、道の駅の年間利用者も60万人を超え、観光客数が年間を通して平準化されたとのことでした。

次に志木市では、「健康面での安全・安心の街づくりの推進について」を視察しました。市民の健康面での安全・安心のために、日本人の死亡原因1位のがんを減少させるため、がん検診受診率50%を目指しており、併せて、健康診断・特定健診の受診にも重点を置き、具体的な事業の取り組みとして、健康診断の拠点として総合健診センターの建設、未受診者への「戸別訪問事業」、子宮頸

市民産業常任委員会

がん予防ワクチン接種全額助成事業など、ユニークな事業が行われております。これらにより受診率向上に一定の成果を上げているとのことでしたが、課題は、市民自らの意思により受診するものであるため、未受診者の意識改革が必要であるとのことでした。

最後に相模原市は、「新都市農業創出特区からの展開について」を視察しました。農業者の高齢化・担い手不足による遊休農地の増加に対応するため、農業生産法人以外の法人の参入を促進し、遊休農地解消を図るものです。現在、農業生産法人以外の法人は3社が参入しており、規模は全体で20ha程度ですが、遊休農地を有効に活用し企業として利益を生みだしているとのことでした。



相模原市役所にて

常任委員会行政視察報告

景観・まちづくりなどを視察

11月8日～10日・滋賀県近江八幡市・彦根市・三重県桑名市

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会では、11月8日から10日までの日程で、滋賀県近江八幡市、彦根市及び三重県桑名市を視察しました。

近江八幡市では、「風景づくり事業」について視察しました。この事業は、市全域を6つの風景ゾーンに分け、地域ごとの風習や文化とともに守られてきた魅力ある風景を次世代に引き継ぐため、それぞれに景観計画を策定、運用しているものであり、平成17年に策定した「水郷風景計画」においては、全国初の景観法に基づく景観計画となったものです。地域住民との協働により、外観だけの景観ではなく、人々の営みをも含めた風景づくりを進めることで、弱体化したコミュニティを再生することを目指しているとのことでした。

彦根市では、「四番町スクエアのまちづくり事業」について視察しました。この事業は、空洞化した中心市街地の活性化のため、地域住民主体のまちづくりを行っているものです。住民自らが策定したまちづくり構想を具現化するため、若手の商店主たちによる土地区画整理組合を設立し、組合施行による土地区画整理事業を基盤に、国土交通省や経済産業省関連の事業など、多くの行政の支援事業を組み合わせ、活用しているとのことでした。

桑名市では、「桑名駅東口周辺整備事業」について視察しました。この事業は、東西自由通路や駅前広場の整備を行うとともに、2社ある鉄道会社の駅舎を自由通路に併設し、橋上駅舎化することにより乗り継ぎの円滑化を図るなど、桑名駅を観光交流拠点にふさわしい交通結節点として整備しようとするものです。住民と行政の協働によるまちづくりを進めており、地元住民の有志が設立したまちづくり組織においては、建築基準法や都市計画法に上乘せして、建築物の用途、高さ及び色彩、屋外広告物の制限などに関する地区独自のルールづくりを具体的に提案するなど、駅周辺地区における良好な住環境の整備を進めているとのことでした。



近江八幡市役所にて

小中一貫校・こども園などを視察

11月10日～12日・兵庫県伊丹市・大阪府箕面市・池田市

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、11月10日から12日までの日程で兵庫県伊丹市、大阪府箕面市及び池田市を視察しました。

伊丹市は、学習到達度調査において、国語力に課題があることが分かり、学校教育に関する市民意識調査では、優先すべき教育改革の上位に国語教育・英語教育の充実が挙げられました。これらを背景に、国の特区指定を受け、総合的な学習の時間を活用して、小学校では「ことば科」を、中学校では「グローバルコミュニケーション科」をスタートさせました。市費で教員や指導員を雇用し、言語教育に力を入れた結果、その後の調査では全国平均を上回り、大きな成果を上げています。

箕面市の「とどろみの森学園」は、同じ地域に別々にあった小中学校を、過疎化に伴い、施設一体型小中一貫校



箕面市「とどろみの森学園」にて

として新築・移転したものです。教育システムは、小学1年～4年の4年間が前期、小学5年～中学1年の3年間が中期、中学2年～3年の2年間が後期となっています。校舎はカタカナの「ロ」の字でつながっている回遊型で、異学年交流が盛んです。小学生に尊敬されることにより中学生は自尊感情が高まり、中学生が身近にいることにより小学生は将来のモデル像が明確になってきています。小学5・6年に対する中学校教員による授業や、小中学校教員による共同授業もあります。

池田市の「なかよしこども園」は、壁を隔てて隣り合わせにあった幼稚園と保育所を、その壁を取り払って幼保一元化施設としたものです。定員は、幼稚園65名、保育所90名、合計155名ですが、今年度の入園状況は、幼稚園29名、保育所113名、合計142名となっています。このように、幼稚園の入園希望者が減少する一方で、保育所待機児童が増加している池田市においては、施設の有効活用により、待機児童の解消にも貢献しています。また、公立で認定こども園を開設する場合のメリットはないと判断し、認定をとっていないとのことでした。

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 名目津温泉管理運営経費の施設修繕費(136万5千円)について、浴室温泉水制御バルブの修繕という事で、具体的には給水、給湯を適温に混合する為にミキシングバルブという制御装置を取り付けたいとの説明であるが、当初設計では見込めなかったのか。

答 名目津温泉はバイオ燃料として木質チップを燃料にしていることから、燃焼温度が一定ではなく給湯に温度差が生じていた。安定した一定温度の温泉水を供給する為にミキシングバルブを設置したい。木質チップを燃料とする給湯設備は、初めての試みでもあったことから、想定するのが困難であった。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

二本松市一般会計・国民健康保険特別会計補正予算について

問 中山間地域等直接支払制度事業について、2期と3期を比較して、参加集落が減少しているとのことであるが、その要因はなにか。

答 参加集落は5年間にわたり集落協定に基づく活動を実施しなければならず、その継続が容易でないため参加しない。という理由がほとんどである。

問 医療費が全体的に伸びているとのことであるが、調剤についてジェネリック医薬品に切り替えれば、伸びを抑えることができる。国保事業の施策としてジェネリック医薬品を利用するための啓発活動は考えられないか。

答 ジェネリック医薬品については、国・県において推進しているところであるが、当市の施策として推進するにあたっては地元医師会との調

整をしなければならないため、今後の検討課題としたい。



農業用施設災害復旧(用排水路・渋川字川坂地内)の説明を受ける様子

若宮・野辺線配水管布設替工場の説明を受ける様子

12月13日に付託された各議案は、12月16日～20日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日22日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。
各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

長期債の借り換え・下水道施設の修繕について

問 東和簡易水道事業における長期債の借り換えについては、どのように計画が変わったのか。

答 借換債の対象となるものについては、国の公的資金補償金免除繰上償還制度の要綱で年利5%以上のものと定められており、今回昭和61年度に年利5.2%で借り入れたものの残債480万円及び平成3年度に年利5.5%で借り入れたものの残債8,800万円の2口の合計9,280万円を借り換えた。従前は国の財政融資資金による起債であったが、今回民間の金融機関から年利0.4%の5年償還で借り換えた結果、元金と利子を合わせ、約3,300万円の財政負担の軽減となったものである。

問 下水道施設修繕費の増については、どのような修繕を行うのか。

答 道路にあるマンホールの鉄の蓋の上を自動車が行くと、周りのアスファルトが徐々に沈んでくることで段差が生じ、バイクなどが通るときに危険な状況となることがある。その修繕として、マンホールの高さを調整し、道路の路盤と同じ高さにするものである。



若宮・野辺線配水管布設替工事の説明を受ける様子

文教福祉常任委員会

工事請負契約締結について

問 小浜小学校校舎耐震補強建築主体工事の完了予定日が平成23年3月22日となっているが、わずか3ヶ月で工事が完了できるのか。

答 平成22年度の事業として単年度予算で実施するものであり、国の交付金等も活用していることから、最初から繰越をする形式での契約はできない。

工期については、業者や学校と協議したうえで、適正な期間を確保し、今後必要な手続きをとっていきたい。

問 工期を考慮して、早めに発注できなかったのか。

答 耐震強度が緊急を要するDランクと判明したのが昨年度末だったため、今年度になってから実施設計を行い、入札等の事務手続きを経て、今回の提案に至ったものである。



小浜小学校校舎耐震補強工事の説明を受ける様子

一般質問

市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月13日から16日の4日間にわたり16人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を掲載します。

[発言順]

深谷 勇吉

[真誠会]



- 社会保険二本松病院存続について
- 市道若宮・鉄扇町線について

問

- ①厚生労働省のアンケートに対しどのような回答をされたのか。
- ②存続させるということに対し、市はどのような回答をされたのか。
- ③公的存続法案の再提出と成立を目指す為に、今後、二本松市としてどのような働きかけをされるのか。

- ②①鉄扇橋を含む歩道整備について
- ②塩沢二丁目歩道脇の水路と歩道間の安全対策について

答

- ①①介護サービス、出産できる産婦人科、透析センター等の継続が期待される旨、回答した。
- ②国が責任をもって公的病院として存続させるべきと回答した。
- ③国、県及び国会議員等に対して公的病院の存続を更に強く要望をしていく。

- ②①今後、歩行者数の調査を行い、必要性も含めて架橋を検討する。
- ②安全安心を第一に掲げており、早期に現地調査を行い対処する。

熊田 義春

[市政会]



- 市が配布する無料券について
- 農業振興策について

問

- ① 菊人形無料招待券と温泉利用券の利用状況について



(二本松の菊人形)

- ②①専業農家と兼業農家の割合について
- ②市独自の農業支援について
- ③市長が考える今後の農業支援取り組み策について

答

- ① 菊人形招待事業の利用者数と利用率は21年度、4,482人36.1%、温泉保養健康増進事業は64.9%。

- ②①17年現在総農家数3,905戸で、専業農家353戸9%、兼業農家3,522戸91%となっている。
- ②県とJAグループで無利子農家経営安定資金の貸し付けを行う。
- ③本市の基幹産業であり、活性化に向け農家所得の向上、耕作放棄地の対策を目標に、JAや農業関係者と事業化に向け進めていく。

安 齋 政 保

[公 明 党]



- 安達地域コミュニティバスについて

問

- ① ①現在までに利用状況について
②運行経費について
③今後の対応について
④福祉タクシー「ようたすカー」について

②



(ようたすカー)

答

- ① ①4月から11月までの8ヶ月間の合計で、小学生の通学利用を除いて2,475名であり、日中巡回便のみの利用者は1,177名です。
②運行見直し分を含めて770万円程度となる見込みです。
③運行ルートと運行時刻の見直しを行い、来年1月から実施の予定です。
④交通弱者といわれている高齢者の皆さんにとっては、なくてはならない交通手段です。

平 敏 子

[真 誠 会]



- 子宮頸がん等ワクチン摂取について
- 茶園地域の下水道整備について

問

- ① 国の平成22年度補正予算で子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種事業に補助が決まりました。「国の制度として実施すべき」との議会答弁でしたので今回の予算化を受け、本市での具体化について伺います。
- ② 茶園1丁目地内は家屋が密集している地域にもかかわらず下水道は未普及です。市として緊急に整備計画を図るべきと考えますが、今後の計画策定のスケジュールと基本的な考え方について伺います。

答

- ① 女性と子ども、市民の健康と命を守ることを優先し、個人負担のない全額公費で実施することを決断。子宮頸がんワクチンは平成23年4月時点で中学校1年生から中学3年生、高校1年生を対象に実施。ヒブ、小児肺炎球菌ワクチンは乳幼児対象に実施する。
- ② 茶園地区は下水道の全体計画に含まれており、管渠布設が可能な工法や、効率的な施設管理等の技法を研究し、次期事業認可変更時(平成25年度～29年度)に検討。

佐 藤 有

[真 誠 会]



- 健康保養施設のスカイピアあだたらについて
- 都市公園安達ヶ原公園ふるさと村について

問

- ① スカイピアあだたらの利用状況と改修(リニューアル)について

安達ヶ原公園ふるさと村の整備について

②



(整備予定の安達ヶ原公園)

答

- ① 今年の4月から11月まで5万8843人の利用で昨年同期より30%増。売り上げ2868万1千円と約50%増であり、今後も利用者増が見込まれる。「サウナ風呂」の設置と休憩室等の早期改修等計画し、利用者の要望に応えたい。
- ② 桜・松・紅葉等の樹木の景観整理や境界樹木ネットフェンスの除去、ふるさと村と連動する園路の整備を行う。子ども館の利用者も多く、子どもが安全に遊べる芝生広場、イベント開催に配慮し、親水施設やせせらぎの安全対策も行う。

平 栗 征 雄

[市政刷新会議「創松未来」]



- 1人暮らしの高齢者対策について
- コミュニティバス運行について

問

- ① 1人暮らしの高齢者の生活状況をどう把握されているか。
- ② 4月のバス運行以来、利用者からの意見等は聞いたか。



(コミュニティバス)

答

- ① 現在1人暮らしの高齢者は855人おり、要支援や介護認定者に対して、ケアマネージャーは定期的な訪問等により、健康状況等を常に把握している。又、配食サービス事業においても、配達員が安否確認を行っている。
- ② 市本庁及び各支所等に、乗り継ぎ、運行ルート、バス停の表示、運行時刻に関するご意見、ご要望が寄せられており、今月中にも利用者を対象にアンケート調査を予定している。

菅 野 寿 雄

[市 政 会]



- 有害獣対策の推進状況について
- 条例改正による人件費削減分の施策反映について

問

- ① ①有害獣捕獲隊の設置根拠についての検討状況は
②農林業に係る被害状況調査結果を示してほしい。
③イノシシによる農地流亡等の被害に対する復旧支援策は。
- ② 11月29日臨時議会における一連の条例改正により削減された人件費の用途について、当局の具体的な考えを示して欲しい。

答

- ① ①「有害鳥獣捕獲隊設置要綱」を制定し、平成23年4月1日を施行期日として準備を進めている。
②平成19年度4.9ha、43万6千円、平成20年度6ha、101万6千円、平成21年度19.5ha、267万2千円となっている。
③市の補助金交付要綱により、復旧事業費の3割の補助を行うことが考えられる。
- ② 総額6千7百万円の財源を得た。手当等の削減による貴重な財源であり、市政進展に活用していく。

鈴 木 利 英

[市政刷新会議「創松未来」]



- 農業振興策について
- 堆肥サポートセンター設置について

問

- ① ①米下落に伴う市の独自策について
②環太平洋経済協定、TPPへの市の対応について
③認定農業者への機械購入助成金見直す考えは。
④空き店舗を活用した農産物直売所の出店について
⑤米粉を利用したパン菓子生産の拡大策は。
- ② 建設に向けての調整経過と建設時期について

答

- ① ①米は国の施策であることから、独自施策は行わない。
②国に慎重な対応を求めるものとし、反対の立場で地域の皆様と一体となり発信していく。
③事業費の2割以内の助成として継続していく。
④前向きに協議に応ずる。
⑤県事業の活用を図り推進方策を検討していく。
- ② 建設時期は、地元や農協、国・県の下解や同意に基づき、調整が整ってから、予定地で進める。

小林 均

[公明党]



- いじめ自殺根絶への取り組みについて
- 子宮頸がん等予防ワクチン接種について

問

- ① ①小中学校でのいじめの実態は。
②子どもたちの発するSOSにどの様に反応し、“いじめ”とどの様に向き合っているのか。
③小中学校における“学級崩壊”の実態とその対策について
- ② ①子宮頸がん等ワクチン接種の全額公費負担の実施を決断した市長の考えと、取り組みについて
②がん検診の受診率アップへ向けた取り組みについて
③子宮頸がん予防ワクチン接種や検診に対する啓発について

答

- ① ①11月10日現在の全校調査の結果、“いじめ”の事案はなかった。
②担任が児童・生徒の交友関係などに気を留め、個別面談を行う。
③“学級崩壊”に該当する学級は現在のところはない。
- ② ①女性と子供、市民の健康を守ることを最優先し、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種の全額公費負担を決断した。
②広報やHPでの周知に加え、12月11日、12日の追加検診を実施。
③健康教室の開催を計画している。

五十嵐 勝蔵

[真誠会]



- 駅南、下成田地区の都市基盤の整備について
- 岳下小学校の通学路の整備について

問

- ① ①今後の駅南・下成田地区の都市基盤の推進について

②まちづくり協議会の基本構想は、市の事業推進計画にどう位置づけされているのか。
- ② 市道大壇4号線の拡幅改良整備促進について

答

- ① ①都市計画道路向原上竹線の整備を最重要事業として進め、全線の早期完成を目指し、地域発展の基盤づくりを進めたい。
②地域全体の整備計画をとりまとめ、必要な事業については、市の長期総合計画の中で検討していきたい。
- ② 住居等家屋があり、拡幅整備は現段階では困難な状況にあり、当面、現在の道路敷地内で蓋付側溝改修等を行い、拡幅を検討し、改善を図っていきたい。

中田 涼介

[真誠会]



- 市の財政状況について
- 地域主権改革に対する市長の認識について

問

- ① ①「地方公共団体財政健全化法」に伴う昨年度の「実質公債比率」の状況について
②昨年度末市債高の借入先比率と繰上償還状況について
- ② 地域主権改革の内容が国において、ともすれば後回しがちの中、特に、ひも付き補助金を廃止するとしている一括交付金に対する市長の認識について聞きたい。

答

- ① ①昨年度末の実質公債比率は19%になったが、本年度決算では18%を下回る見込みである。
②政府系資金が77%、縁故債が23%。金利5%以上の借入を中心に一昨年度から約20億円の償還を実施してきた。
- ② 一括交付金は、自治体のみならず、国のあり方も変える大きな制度改革であり、自治体にとって、これまでの国によるお任せせから、自己決定、自己責任が求められると認識している。

佐藤 源市

[あぶくま会]



- 企業誘致の実態と工業団地造成事業の進捗について
- 観光推進について

問

- ① ①企業誘致の実態と今後の推進について
②工業団地適正調査結果と次年度取り組みについて
- ② ①日本一桜の郷二本松推進事業について
②観光立市推進事業の次年度取り組みについて



(中島の地蔵桜)

答

- ① ①新たに安達地方企業立地協議会を結成し最先端ITエレクトロニクス総合展示会にブース出展した。
②適地面積30～50haとし概略設計調査の検討を行い、次年度は開発に伴う関係機関との打合せを行い具体化に向け準備を進める。
- ② ①近年は「桜」観光に人気が沸騰しており1万本しだれ桜等植栽及び古木の保存整備を進める。
②着地型観光の企画(霞ヶ城公園もみじ祭や東和布沢フラワーロード整備事業へ取り組む。)

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- 市民生活と生活保護行政について
- 社会保険二本松病院存続について

問

- ① ①厳しい市民生活実態の市の認識は。
②生活保護制度の利用制限の動きについて本市の状況は。
- ② 全国の社会保険52病院、厚生年金10病院等をグループとして存続させ、そのネットワークを活かし安定した経営、医療、研修体制を目指すべきと考えるが、市長の見解は。

答

- ① ①本市の市民税等は軒並み前年度対比で落ち込み、生活相談件数等が増加し、市民にとっては厳しい生活を強いられている。
②国から「保護の申請権を侵害しないよう、また侵害と疑われるような行為も厳に慎むべし」旨の通知があり、遵守しておりご指摘の件はありません。
- ② 一日も早く公的病院として存続できる受け皿づくりが第一と考えており、今後も国・県・国会議員等に強く働きかけていく。

齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- 農業振興とTPP（環太平洋連携協定）について
- 街づくり対策について

問

- ① ①例外なき関税撤廃による、市内農畜産物生産への影響は
②道の駅安達、こらんしょ市、ベイシアの産直売り上げは。
- ② ①あらたな下水道認可区域の設定と安達駅周辺整備事業での上下水道の整備について
②大玉村で住宅開発に対する優遇措置がある。人口増加対策として二本松でも実施すべきでは。

答

- ① ①稲作など32億円の減収、雇用1615人減、耕作放棄地が2845ha増えると試算される。
②平成21年度1億7300万円、1億1700万円、4500万円となっている。
- ② ①安達駅周辺の農地は良好な宅地化が見込まれることから、新たな配水管の布設および下水道区域の追加見直しを検討する。
②市としてどこまで支援が可能か、財政措置はどうすべきかなど市内で詳細に検討していく。

本多 勝実

[市政刷新会議「創松未来」]



- 市内小中学校再編について
- 市職員採用試験について

問

- ① 今後の学校再編計画はあるのか
② 学校教育における部活動の位置づけはどのようなものか、今後の部活動についての考えは。
- ② 職員採用試験の現状と試験方法について、又、学歴による試験区分が無いのはなぜか。

答

- ① ① 長期的には検討が必要と考えるが、地域の実情もあり今すぐという段階ではない。
② 学校教育の中でも人格形成に果たす役割は大きく意義がある。より望ましい部活動のあり方を考えていきたい。
- ② 一次試験は多肢選択式教養試験、二次試験は、適性検査、表現力について作文試験、個別面接による口述試験の三つの試験を行っている。真に優秀な職員採用のため学歴区分は無い。

新野 洋

[市政刷新会議「創松未来」]



- 広域高速交通網の整備に対応した観光振興について
- YouTubeを利用したタイムリーな情報発信について

問

- ① 東北新幹線が青森まで開通した。そして北関東自動車道の全線開通により、関越、北陸、磐越、常磐、東北道を結ぶ5県周遊ルートが完成する。二本松市がただの通過点にならないように滞在・回遊型観光、広域連携等を含め積極的な取り組みが必要ではないか。
- ② 市内各観光スポットのタイムリーな動画をYouTubeにアップしてくれる、観光支援ボランティアを募集し委託する考えはないか。市のHPにも有効に使えると思うが。

答

- ① 福島県全市町村と関係団体で組織する「うつくしま観光プロモーション推進機構」と中通市町村と関係団体で組織する「うつくしま奥の細道観光キャンペーン推進会議」で事業の取り組みに向けた実施計画を策定中である。市町村が実施すべき役割等についても今後計画される。
- ② 有効な方法であり可能であると考えられるが、募集方法、撮影にかかる地域割り、当番制など調整する課題があり、今後協議研究していく。

みなさんからの請願

【採択となった請願】

- ◎ 「TPP交渉参加反対」に関する請願書
- ◎ TPPの参加に反対する請願

【一部採択となった請願】

- ◎ 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する請願書
- ◎ 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願書

【不採択となった請願】

- ◎ 患者の窓口負担大幅軽減を求める請願書
- ◎ 危険なプルサーマル発電の中止を求める請願

可決された意見書

- ☆ TPP交渉参加反対に関する意見書
(内閣総理大臣・外務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣)
- ☆ 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書
(内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長)
- ☆ 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書
(福島県知事)
- ☆ 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書
(内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣)
- ☆ 福島地方務局二本松出張所の廃止統合計画に反対する意見書
(内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣)

◆ 表彰 ◆

平成22年12月1日、二本松市表彰規則の規定に基づく市政功労者表彰が行われ、市議会議員として6年在職したことにより、次の方が功労表彰を受賞されました。おめでとうございます。



平塚 興志 副議長 中田 凉介 議員 本多 勝実 議員

会議録は本会議での一般質問を、そのまま記録したもので、広く市民に会議の内容を明らかにすることを目的に作成されています。

ホームページで公開していますのでお気軽にご覧ください。

アドレス

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/gikai/kaigiroku/kaigiroku-top.html>

？ 議会豆知識 ？ 【議長の仕事（職務権限）とは？】

議会を代表する議長の主な仕事（職務権限）は、議事の整理、議場の秩序の保持、議会の事務の統括等であり、地方自治法、条例及び規則等に定められているほか、会議原則その他慣例によっても認められています。具体的には次のようなことがあります。

- ①議会の開・閉会の宣言、議事日程作成、開議・散会・延会・中止及び休憩の宣言、議事の整理など、単に会期中の議事の円滑進行だけでなく、その議事進行計画の準備及び議事の進行の結果を整理すること。
- ②秩序の保持として議員が会議中、法律や会議規則に違反、又その他議場の秩序を乱した場合及び議員が会議中無礼な言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をした場合、傍聴人が会議を妨害、又、議員から会議を妨害する者がある旨注意があった場合、議長は自治法の規定に基づき措置をすること。
- ③議会の代表権は議長にあり、議会の意思を対外的に表示、又は外部からの議会に対する行為も議長の名において行うこと。
- ④委員会に対する権限として、委員会への出席と発言、正副委員長互選の委員会招集、公聴会開催の承認、委員派遣の承認などを行うこと。
- ⑤議員に対し、出席催告、欠席届の受理、欠席議員に招状発付、閉会中の議員の辞職許可など。
- ⑥議会の開・閉会中において議会運営事務を統括し、議会事務局職員の任免、指揮監督を行うこと。

お知らせ

◎次回の定例会は3月上旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。

◎市議会だより、または、本市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あて先

〒964-8601 二本松市金色403-1

市議会だより編集委員会

TEL 55-5143(議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail

shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

議会の動き (10月～12月)

10. 5	愛知県高浜市議会会派行政視察受入
7	市議会だより編集委員会
15	第40回二本松地区文化祭開場式
//	市議会だより編集委員会
21	議会運営委員会
//	議員協議会
//	会派代表者会議
22	愛知県稲沢市議会会派行政視察受入
11. 8	市民産業常任委員会行政視察(～9日)
//	建設水道常任委員会行政視察(～10日)
9	茨城県守谷市議会行政視察受入
10	総務常任委員会行政視察(～12日)
//	文教福祉常任委員会行政視察(～12日)
11	鹿児島県曾於市議会建設経済常任委員会行政視察受入
//	愛知県刈谷市議会議会運営委員会行政視察受入
16	山形県鶴岡市議会会派行政視察受入
//	平成22年度安達地方市町村議会議員研修会
18	第154回福島県市議会議長会臨時総会(～19日)
19	議員協議会
//	会派代表者会議
24	安達地方広域行政組合議会議会運営委員会
25	議会運営委員会
26	平成22年第3回安達地方広域行政組合議会11月定例会
29	平成22年第8回(11月)臨時市議会
//	会派代表者会議
12. 3	議会運営委員会
//	市議会だより編集委員会
7	平成22年第9回(12月)定例会開会
//	議員協議会
22	平成22年第9回(12月)定例会閉会
//	議員協議会
24	市議会だより編集委員会

編集後記……………

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新春を健やかに迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、記録的な猛暑と豪雨による農作物被害、自然災害に見舞われた1年でした。加えて長引く景気の低迷と雇用不安、厳しさだけが表面化し続けた1年でもありました。

「今年こそ希望と夢のあふれる1年にしたい！」編集委員全員の願いです。今年は無事です。前に大きく跳ねる1年間であることをお祈りします。



私たちが議会だよりの編集を担当しています。よろしくお祈りします。

◆ 編集委員会 ◆

委員長	平 敏子
副委員長	菅野 寿雄
	熊田 義春
	安斎 政保
	深谷 勇吉
	堀籠 新一
	安部 匡俊
	斎藤 広二